

## 平成 25 年度（公財）養老町スポーツ連盟事業計画

本連盟は、昭和 53 年に設立以来、今年 35 年目を迎えました。この間、関係機関・団体密接な連携を図りながら、スポーツ活動を通して町民の健康・体力の増進と、明るく活力に満ちたコミュニティづくりに大きく貢献して参りました。昭和 62 年には、「スポーツの町」の宣言に呼応して、一層「競技力の向上」と「コミュニティ・スポーツの振興」を図るため財団法人を設立し、組織体制の強化と資金の充実を図ってきました。

この度、国においては「民間主導による、更なる公益の増進」を目指して公益法人制度の抜本的な見直しが行われ、これに伴って、本連盟も、新法人への設立申請を行い、昨年の 9 月に岐阜県知事から、「公益財団法人」の認定を受け、10 月 1 日に、これまでの「財団法人養老町体育連盟」を発展的に解消し、更なる、事業の充実を目指して、新しく「公益財団法人養老町スポーツ連盟」を設立しました。

昨年は、本県開催の「ぎふ清流国体」において、悲願の天皇・皇后両杯を獲得し、県民の誰もが県民パワーに感動し、大きな誇りと自信を持つことが出来ました。本町開催のサッカー・軟式野球競技も、連日熱気あふれる声援を頂き、大成功裡に終了しました。また、バッドゾーデン市との日独スポーツ交流事業も、25 周年を迎え、盛大に記念事業を開催し「友好都市提携」の絆を一層深めることが出来ました。

近年、国民の健康・体力の実態は、運動不足による体力の低下や心身症・生活習慣病の増加等、本格的な少子・超高齢化社会の進展と相俟って、極めて憂慮すべき状況にあります。

このため国においては、構造的な運動不足を解消して体力の向上と生活習慣病を克服するため、「健康日本 21」の推進が積極的に図られております。また、スポーツ振興法を全面的に改正して、新しく「スポーツ基本法」を制定し、国民皆スポーツによる「スポーツ・コミュニティ」の形成を目指して、平成 32 年度までに、成人の週 1 回以上のスポーツ実施率 65%を目標に、身近で手軽にスポーツが楽しめる「コミュニティ・スポーツクラブ」1 万か所の育成を目指しております。

養老町においても、「スポーツ推進審議会」が設置され、平成 25 年度を目標に「スポーツ振興計画」を策定中です。

本連盟は、新法人の設立を契機に、国・県・町の動向に的確に対応しつつ、名実ともに全国に誇りうる日本一健康な「スポーツの町・養老」の実現を目指し、下記に掲げるスローガンと推進目標の達成に連盟の総力を結集して邁進します。

スローガン 「広げよう スポーツの輪 高めよう競技力」

推進目標

- 1 競技力向上対策の推進
  - (1) 競技力向上対策の充実と関係機関・団体との連携強化
  - (2) 科学的コーチング・トレーニング法の普及・啓発
  - (3) 日本体育協会公認スポーツ指導者の育成とリーダーバンクの設立
- 2 コミュニティ・スポーツの充実・振興
  - (1) 地域におけるスポーツクラブ(グループ)の育成
  - (2) スポーツクラブの交流促進
- 3 「第 36 回養老町体育大会」の充実開催
- 4 スポーツ少年団の育成強化
  - (1) 組織の充実と加入促進
  - (2) 指導者及びリーダーの養成確保とスポーツ活動の充実
- 5 本連盟及び 加盟団体の組織体制の充実強化
  - (1) 「公益財団法人」としての組織体制の整備
  - (2) 委員会機能の充実と役割分担の明確化
  - (3) 財政の充実と基本財産の効率的運用
- 6 啓発のための広報・広聴活動の 充実
- 7 顕彰事業の推進
- 8 施設・設備の整備及び効率的活用の促進
- 9 各種大会の誘致開催
- 10 国際スポーツ交流事業の推進